

◇熊谷隆一君

○議長（伊藤福章君）次に、4番熊谷隆一君、登壇願います。4番。

（4番 熊谷隆一君 登壇）

○4番（熊谷隆一君）私は食育について一般質問を行います。

日本人の平均寿命は、男女ともに世界一と言われております。これについては衛生的な生活環境や、高度化しただれでも気軽に受診できる医療環境など、数多くの要因に支えられて実現できたことだとは思いますが、しかし、何と云っても一番大きい要因は、米を中心としたバランスのとれた、いわゆる日本型の食生活が昭和の中ごろから定着し、それがずっと続けられてきたからだと思えます。

しかし、最近では食生活において栄養バランスの偏り、生活習慣病の増加、食料自給率の低下、食べ残しなど食料資源の浪費の問題なども指摘されております。それに前に大きな問題となった病原性大腸菌O-157や最近ではアメリカ産牛肉のBSE問題など、食品の安全性についても国民の大きな関心を集めていると思えます。

こうした実情を踏まえて国民一人一人がみずからの食について考える習慣を身につけ、生涯を通じて健全で安心な食生活が営めるようにするため、国では平成17年6月に食育基本法を制定しました。最近ではマスコミにも「食育」という言葉が取り上げられるようになりました。言葉あるいはその関連する意味において「医食同源」や「身土不二」など、食べ物と健康の関係をあらわしている事柄や、また「地産地消」「スローフード」などいろいろな関連した取り組みもされておると思っております。また、最近のテレビの番組でも「チャングムの誓い」という韓国のテレビドラマが放映され、大変高い視聴率を上げたと言われております。あのドラマの内容も実は食と健康の関係を取り上げていたと思えます。

町長は、18年度の施政方針の中で、小学校児童を対象とした食育推進事業や幼児期の保護者に対する食育の啓蒙・普及について、また、美郷の食材を多用した「丸ごと美郷給食」の実施などを掲げております。また、昨年度からは「朝ご飯食べよう運動」も行われております。食育は私が言うまでもなく、物を食べることの意味だけではなく、あいさつや早寝早起きなど子供たちにいわゆるしつけと言われる正しい生活習慣を身につけさせることにもつながっていくと思えます。

こうした観点からしても、地味ではありますが、大変よい事業だと認識しております。食事は指向性がありますし習慣性もありますので、町民が、特に成人においてはなかなか食育については今少し理解しがたい面もあると思えます。そこで、食育に対する取り組みの全体計画や18年度の具体的な事業内容、町民への周知をどのように行っていくのかお伺いいたします。

この事業は、一朝一夕に成果が上がる事業ではないと思えますけれども、人間にとって一番大切な健康を守るために意義のある事業なので、息の長い取り組みをお願いして質問にかえさせていただきます。

○議長（伊藤福章君）答弁を求めます。町長、登壇願います。

(町長 松田知己君 登壇)

○町長(松田知己君) 熊谷議員のご質問にお答えいたします。

まず、食育についての基本的な考え方を示させていただきますが、生活習慣病を予防し健康的な生活を維持するためには正しい食習慣を身につけることが最も基本になります。しかし、食習慣は大人になってから改善するのはなかなか難しく、食習慣の形成時期である幼少期からの積み重ねが大切になります。町の食育事業は、この大事な時期に子供たちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送れる食事の自己管理能力をはぐくもうというものです。食育については以上のような基本的な考え方と目標を持って、長期的な視点に立って継続に取り組みたいということが全体的な私の考え方です。

その上で、平成18年度の具体的な事業計画についてですが、幼稚園、保育園の園児や小学生とその保護者を対象にした取り組みを実施いたします。幼稚園、保育園での取り組みとしては、幼児期の食生活が骨格の基礎を築く重要な時期であるということから、各園の給食においては安全でバランスのとれた完全給食を提供してまいります。保護者に対しては、年間を通じて「食の国秋田推進運動」とあわせてその啓発に努めるとともに、家庭教育学級において食育の大切さをテーマとして講演会を開催する計画です。また、小学生の場合は理解度も増してくることから、食材の組み合わせや調理法をテーマに保護者も参加する「レッツチャレンジ健やかクッキング教室」を開催し、食べ物を選ぶ力、食べ物の味がわかる力、料理ができる力、食べ物の命を感じる力、元気な体がわかる力の五つの力が身につくよう事業を進めていく予定です。このほか各学校給食センターによる美郷の食材を多用した「丸ごと美郷給食」も実施してまいります。

また、食育推進の周知については、母子手帳交付時や乳幼児健診時の保護者への栄養指導、食生活改善グループへの活動支援、各行政区の健康生活推進員を通じて実施する地域での啓蒙普及活動、「美郷フェスタ」での各種活動、町の広報やホームページによる正しい食生活のPRなど年間を通じて繰り返し実施してまいります。

また、こうした取り組みを推進していく過程において、できる限り食料生産を担う農業の意義について理解が深まるよう十分に配慮しながら推進してまいりたいと考えております。以上をもちまして答弁にさせていただきます。

○議長(伊藤福章君) 熊谷隆一君。

○4番(熊谷隆一君) この事業は非常に幅広い事業であり、関連性が各課にわたると思いますけれども、主体的にどの課が担当するというか、担って、その上で連携をとっていくのかということについてお伺いしたいと思います。

○議長(伊藤福章君) 答弁を求めます。町長。

○町長(松田知己君) ただいま議員のご発言がありましたとおり、さまざまな分野が総合的に施策を展開することでこの食育事業を推進したいと思っておりますので、一つの課が主体的にというよりは、対象

となる子供さんの年齢に応じ、また内容に応じ、それぞれの所管課が総合的に連携をとりながら推進していくというふうに考えておりますので、よろしくご理解をお願い申し上げます。

○議長（伊藤福章君）熊谷隆一君。

○4番（熊谷隆一君）答弁ありがとうございます。これで私の一般質問を終わります。

○議長（伊藤福章君）これで4番熊谷隆一君の一般質問を終わります。